

大阪商業大学大学院
地域政策学研究科 経営革新専攻

入学試験問題(留学生)

【修士課程】

平成 26 年度 (秋期) 作文(日本語)

平成 26 年度 (春期) 作文(日本語)

作文（日本語）問題

アメリカのインタビュー番組や著書『資本主義と自由』のなかで、ミルトン・フリードマン（1976 年ノーベル経済学賞受賞）は、企業の社会的責任（CSR: Corporate Social Responsibility）について、次のようなことを述べています。

「企業経営者の使命は、企業のオーナーである株主の利益を最大にすること、その一点のみである。CSR と称して、企業経営者が、株主に配当すべき利益を慈善事業に寄付する行為は、株主に対する裏切りである。」

ミルトン・フリードマンのこの意見に対するあなたの思うことを述べてください。

【答案作成上の注意】

- 1.この試験は、日本語による表現能力を判定するものですので、あなたの経済や経営に関する知識は判定の対象ではありません。したがって、的確かつ論理的な日本語の文章で記述してください。
- 2.文章の最初に、解答の内容にふさわしい表題（タイトル）をつけてください。
- 3.解答は、経済的・社会的・政治的・文化的等、どのような観点から作成してもかまいません。ただし、あくまでも、地域政策学研究科の試験であることを理解して解答してください。
- 4.影響を受ける企業は、あなたの出身国・出身地域の企業であっても、日本の企業であっても構いません。ただし、どこの国・地域の企業を意識して記述しているかを明らかにしてください。

作文（日本語）問題

自宅から社内情報システムにアクセスするなどして、出社しなくても仕事ができる「在宅型テレワーク」は、新しいワークスタイルとして、先進国の多くの企業が導入を進めています。日本の国土交通省の調査によると、非在宅型テレワーカーより、在宅型テレワーカーの方が仕事への満足度は高くなっています。一方、IT 大手のヤフーは、業績向上に必ずしも結びついているとは言えないという理由で、2013 年 6 月から在宅型テレワークを禁止しました。あなたは在宅型テレワークの導入に賛成ですか、それとも反対ですか。その理由はなんですか。あなたの考えを述べてください。

【答案作成上の注意】

- 1.この試験は、日本語による表現能力を判定するものです。
したがって、的確かつ論理的な日本語の文章で記述してください。
- 2.文章の最初に、解答の内容にふさわしい表題（タイトル）をつけてください。
- 3.解答は、経済的・社会的・政治的・文化的等、どのような観点から作成してもかまいません。
ただし、あくまでも、地域政策学研究科の試験であることを理解して解答してください。
- 4.影響を受ける企業は、あなたの出身国・出身地域の企業であっても、日本の企業であっても構いません。ただし、どこの国・地域の企業を意識して記述しているかを明らかにしてください。